

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

日南市長

市町村名 (市町村コード)	日南市 (45204)
地域名 (地域内農業集落名)	北郷⑧ (大戸野)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和4年12月17日 (第1回)

注1：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

地域内の4haの農用地は、現状1.8haが耕作可能な状態である。内訳としては、担い手農家2戸により水稻栽培95a、施設園芸25a、保全管理60aとなっている。

・課題としては、山深い山間地であり道路や水利確保が不便な状況のなか、近年では有害獣の被害により、耕作の継続が課題となっている。

(2) 地域における農業の将来の在り方

7戸の農家へのアンケート調査では、4戸の農家が離農や農地を預けたい意向であり、1戸が規模拡大したいと回答している。残り2戸は現状維持の意向である。

今後は、規模拡大農家の意向を踏まえて農地の集積を図っていく。特に保全管理の農用地について、有害鳥獣の被害防止対策を図りながら耕作再開を目標とする。将来は、山間地の特色を生かして農産物加工販売により特色ある農業を展開していく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積) 【任意記載事項】	1 ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

区域内の農地については、高齢化や耕作不便により耕作をすでに廃止している農地があり、そういった農地の耕作再開は困難な状況がある。そのため区域としては、日照良好で、道路や水利の確保が可能な農用地等を農業上の利用が行われる農地として設定する。

注：区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1) 農用地の集積、集約化の方針
担い手への集積・集約化を進める。集積・集約化にあたっては農地バンクを活用する。
(2) 農地中間管理機構の活用方針
担い手への意向を踏まえ、農地バンクを通じた貸付により、集約化を進める。
(3) 基盤整備事業への取組方針
山間地に分散した戸別の農用地であり基盤整備事業は困難な状況であり、現状維持に努める。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組方針
関係機関と連携し、情報を発信しながら、多様な経営体を募り、相談から定着まで取り組んでいく。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
現在のところ考えていない。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください）

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】